

緑内障とは

失明原因の第1位、40歳以上の20人に1人が罹っています。ヒポクラテス(古代ギリシャ)は「目が地中海の海のような青(緑?)色になり、やがて失明する」と書いています。緑内障は①眼圧上昇あるいは②視神経の老化・虚弱性(日本人の緑内障の70%を占め、眼圧は正常)が原因で、視神経の細胞と線維が壊死し減少する病気です。視神経乳頭部の神経線維束の体積が減るので陥凹が深く広くなる眼底所見が得られます。

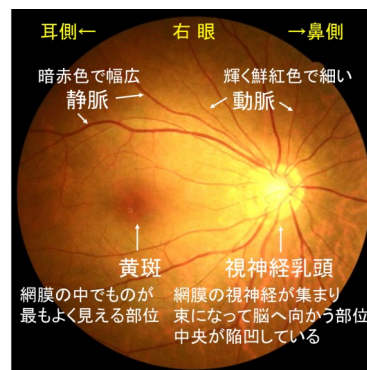
視野検査では、視野が周辺部から見えにくくなる視野狭窄が証明されます。

眼圧が急に上昇し目や頭の激痛を生じる急性緑内障発作(閉塞性隅角による)は救急処置が必要です。

健康♪外来ニュース

眼底検査は目の病気を見つけるためだけじゃない

眼の奥をフラッシュ撮影する眼底検査の目的は、①高血圧や動脈硬化の程度をみること。網膜の動脈は鮮紅色の血管で、血圧が高くなる(H)と狭細化や管径不整を生じます。動脈硬化が進む(S)と反射光が紅色から銅・銀色へ変化し、動・静脈の交差部では動脈が静脈を圧迫して走行変化、管径変化、隠伏(静脈が途切れる)を起こします。シェイェ分類のH、S各4段階評価は、脳卒中、心筋梗塞による死亡率と関連します。②糖尿病性網膜症の有無を判断すること。網膜症は、糖尿病患者の40%に合併し、未治療患者の50%が10年以内に発症します。単純型→増殖前型→増殖型に分類され、毎年3000人が失明しています(失明原因の第2位)。③目の病気を早期発見すること。・視神経乳頭陥凹の拡大: 緑内障を疑います。・眼底出血: 高血圧、糖尿病などが原因です。・網膜剥離: 加齢、糖尿病などで網膜色素上皮が剥がれたもの。・網膜色素変性: 遺伝性で矯正視力の低下が特徴です(失明原因の第3位)。・加齢黄斑変性: 高齢者、男性、喫煙者に多く、視力低下を生じる(失明原因の第4位)。・ドルーゼン: 網膜に老廃物が沈着して白く見えるもの。・黄斑上膜(前膜): 加齢によって硝子体が網膜から剥がれ、残った硝子体の膜が黄斑部を覆った状態です。



眼底写真がきれいに撮れない状態とは

光は角膜から入って→水晶体(レンズ)→硝子体→網膜へと到達します。眼底が観察しにくい場合には、①眼瞼下垂(まぶたが被さる)、②角膜炎・円錐角膜、③瞳孔の広がりที่ไม่十分、④ブドウ膜(虹彩、毛様体、脈絡膜)の炎症、⑤白内障(水晶体が白く濁って羞明や視力低下を生じる)、⑥硝子体混濁(炎症、出血、飛蚊症など)、などを疑います。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康♪外来

水曜日 14:00~17:00(要予約)

担当: 中嶋